

JP063 朝日岳・月山 (あさひだけ・がっさん)

山形県：寒河江市、村山市、鶴岡市、大石田町、長井市、西川町、大江町、朝日町、白鷹町、小国町、飯豊町、戸沢村、大蔵村、舟形町、庄内町

新潟県：村上市、関川村

位置	N 38° 20′ E 139° 51′
----	----------------------

面積	190,000ha
----	-----------

環境構成【森林】

朝日連峰、月山は、磐梯朝日国立公園の出羽三山朝日地域に含まれるが、朝日連峰は花崗岩質の隆起山地で、月山は火山性の山地と性質が異なる。共に日本海側の多雪地帯で、雪崩による浸食が急峻な地形を作り上げている。朝日連峰の主脈には主峰大朝日岳 1,870m を始め、西朝日岳、寒江山、以東岳が連なり、四方に広がる支脈も含めると、南北 60 km、東西 40 km 程の広大な地域である。月山 1,984m、湯殿山、羽黒山を称して古くから出羽三山と呼ばれ信仰、修験の山として人々から崇められてきた。両山地共に中腹にはブナ、ミズナラなどの落葉広葉樹が豊かに茂り、上部は高山植物の宝庫となっている。



写真：大澤八州男

選定理由

A3	-
----	---

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（大鳥朝日）、都道府県指定鳥獣保護区（月山）、国立公園（磐梯朝日）、自然環境保全地域、保護林

<その他>

国指定天然記念物月山

保全への脅威

- ・伐採適期のスギ林の広範囲な伐採（猛禽類の営巣林）
- ・狩猟による猛禽類の餌動物（ヤマドリ、ノウサギなど）の減少
- ・ゲリラ豪雨、大雨による地くずれ

- ・月山、朝日連峰地域への登山者の増加、春のスノーモービル
- ・大気汚染による、高山帯植生への影響
- ・水門、ダム建設
- ・砂防堰堤建設

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
減っている
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境
悪い（40～70%が最適の状態）
- ・ IBA エリア保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ 環境教育活動：
内容：探鳥会（日本野鳥の会山形県支部）
自然観察会など（山形県立自然博物館）
- ・ モニタリング調査
モニタリング調査、ボランティア巡視など（朝日山地森林生態系保護地域管理委員会）
イヌワシの繁殖調査（日本野鳥の会 奥会津連合）
- ・ その他
緑の回廊設定（東北森林管理局）
月山パトロール（出羽三山の自然を守る会）

見られる鳥

ブナ林ではキビタキ、クロジ、コルリなど、溪流ではヤマセミ、カワガラスなど、また中腹や稜線に大型猛禽類のクマタカ、イヌワシの舞う姿が見られる。

留鳥	トビ、ノスリ、クマタカ、イヌワシ、ヤマドリ、ヤマセミ、オオアカゲラ、コゲラ、セグロセキレイ、カワガラス、シジュウカラ、コガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラス
夏鳥	オシドリ、ハチクマ、サシバ、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、ホトギス、アカショウビン、ヨタカ、ハリオアマツバメ、アマツバメ、サンショウクイ、イワ

	ヒバリ、コルリ、クロツグミ、アカハラ、ヤブサメ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、ノジコ、クロジ
冬鳥	アオシギ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、アトリ、マヒワ、ベニマシコ、シメ
旅鳥	ノビタキ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会山形県支部
- ・山形県立自然博物館
- ・月山ビジターセンター
- ・出羽三山の自然を守る会

